【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の２第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年11月10日
【事業年度】	第92期(自　2025年４月１日　至　2026年３月31日)
【会社名】	北陸電気工業株式会社
【英訳名】	HOKURIKU ELECTRIC INDUSTRY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　下坂　立正
【本店の所在の場所】	富山県富山市下大久保3158番地
【電話番号】	076-467-1111(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長　　三輪　浩司
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区西五反田5-2-4 レキシントン・プラザ西五反田8階
【電話番号】	03-5437-2201(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員営業マーケティング本部長　　飯山　康太
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

１【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2026年６月25日に提出いたしました第92期（自2025年４月１日　至2026年３月31日）有価証券報告書に含まれる連結財務諸表の作成において、連結キャッシュ・フロー計算書における一部科目の集計区分（営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」及び投資活動によるキャッシュ・フローの「固定資産の取得による支出」）に誤りがあることが判明いたしました。

これに伴い、連結キャッシュ・フロー計算書本体ならびに「主要な経営指標等の推移」、「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」における記載事項を訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

２【訂正事項】

第一部　企業情報
　第１　企業の概況
　　１　主要な経営指標等の推移
　　(1) 連結経営指標等
　第２　事業の状況
　　４　経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
　　(1) 経営成績等の状況の概要
　　②　キャッシュ・フローの状況
　　(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容
　　②　キャッシュ・フローの状況の分析・検討内容並びに資本の財源及び資金の流動性に係る情報
　　ａ．キャッシュ・フロー
　第５　経理の状況
　　１　連結財務諸表等
　　(1) 連結財務諸表
　　④　連結キャッシュ・フロー計算書

３【訂正箇所】

訂正箇所は＿＿＿＿を付して表示しております。

第一部【企業情報】
第１【企業の概況】
１【主要な経営指標等の推移】
(1) 連結経営指標等

（訂正前）

回次		第88期	第89期	第90期	第91期	第92期
決算年月		2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
（省略）						
営業活動による キャッシュ・フロー	（百万円）	△909	629	4,519	4,124	1,397
投資活動による キャッシュ・フロー	（百万円）	△1,064	△1,045	△737	△1,471	△134
（省略）						

（訂正後）

回次		第88期	第89期	第90期	第91期	第92期
決算年月		2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
（省略）						
営業活動による キャッシュ・フロー	（百万円）	△909	629	4,519	4,124	2,130
投資活動による キャッシュ・フロー	（百万円）	△1,064	△1,045	△737	△1,471	△867
（省略）						

第２【事業の状況】

４【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績等の状況の概要

②キャッシュ・フローの状況

（訂正前）

（省略）

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,397百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益2,792百万円、減価償却費1,158百万円のほか、棚卸資産の増加、仕入債務および退職給付に係る負債の減少、法人税等の支払いなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は134百万円となりました。これは、固定資産の取得による支出825百万円のほか、投資有価証券の売却による収入などによるものであります。

（省略）

（訂正後）

（省略）

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,130百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益2,792百万円、減価償却費1,158百万円のほか、棚卸資産の増加、仕入債務および退職給付に係る負債の減少、法人税等の支払いなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は867百万円となりました。これは、固定資産の取得による支出1,558百万円のほか、投資有価証券の売却による収入などによるものであります。

（省略）

(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

②キャッシュ・フローの状況の分析・検討内容並びに資本の財源及び資金の流動性に係る情報

ａ．キャッシュ・フロー

（訂正前）

当連結会計年度は、営業活動によるキャッシュ・フローが、利益の計上、仕入債務の減少などにより、1,397百万円となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは設備投資などにより、△134百万円となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い△713百万円、自己株式の取得による支出△131百万円、借入金の純増298百万円などにより△644百万円となったことなどから、当期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前期末に対し906百万円増加（同＋9.7％）し、10,210百万円となりました。

（訂正後）

当連結会計年度は、営業活動によるキャッシュ・フローが、利益の計上、仕入債務の減少などにより、2,130百万円となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは設備投資などにより、△867百万円となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い△713百万円、自己株式の取得による支出△131百万円、借入金の純増298百万円などにより△644百万円となったことなどから、当期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前期末に対し906百万円増加（同＋9.7％）し、10,210百万円となりました。

第５【経理の状況】

１【連結財務諸表等】

（１）【連結財務諸表】

④【連結キャッシュ・フロー計算書】

（訂正前）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
（省略）		
その他	△369	△413
小計	4,440	1,741
利息及び配当金の受取額	172	190
利息の支払額	△73	△92
法人税等の支払額	△497	△535
保険解約返戻金の受取額	44	57
損害賠償金の支払額	△0	－
スクラップ売却による収入	38	35
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,124	1,397

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,010	△825
固定資産の売却による収入	1	1
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	21	158
貸付けによる支出	－	△35
貸付金の回収による収入	－	0
定期預金の純増減額（△は増加）	△421	217
その他	△61	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,471	△134
（省略）		

（訂正後）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
（省略）		
その他	△369	318
小計	4,440	2,474
利息及び配当金の受取額	172	190
利息の支払額	△73	△92
法人税等の支払額	△497	△535
保険解約返戻金の受取額	44	57
損害賠償金の支払額	△0	－
スクラップ売却による収入	38	35
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,124	2,130

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,010	△1,558
固定資産の売却による収入	1	1
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	21	158
貸付けによる支出	－	△35
貸付金の回収による収入	－	0
定期預金の純増減額（△は増加）	△421	217
その他	△61	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,471	△867
（省略）		